

経済センサス－基礎調査

- 1.経済センサス－基礎調査の町丁・大字境界データは、地方公共団体が調査を実施する際に設定した調査区の境界を基に、事業所の位置情報や電子地図の情報との整合を図り作成していますが、実際の町丁・大字の境界と一致しない場合があります。
また、町丁・大字の名称についても、一致しない場合があります。
- 2.町丁・大字名称を付与できない地域（山林や湖沼など）については、名称を空白にしています。
また、市区町村名の下に町丁・大字名がなく、直接番地となる地域については、町丁・大字名称を便宜「その他」としています。
ただし、「その他」の属性データの「事業所数」及び「従業者数」の数値については、上記地域に存在する事業所のほか、所在地が公称の町名・大字名ではなく通称の地域名称で記入された事業所や記入不備の事業所を含んでいる場合があります。
- 3.一つの市区町村内に同一の町丁・大字番号を持つ境域が複数存在する場合があります、このような場合には、重複フラグを付与し、識別できるようになっています。
- 4.町丁・大字の面積は、町丁・大字の境界データの図郭により算出したものであり、市区町村内のすべての町丁・大字の総計は、国土地理院等の公式な面積と一致しません。
- 5.都道府県の境界線は、接合処理を行っていないため、都道府県をまたがって市区町村を接合した場合には、都道府県の境界線にずれが生じる場合があります。
- 6.他県の飛び地の境域が市区町村に含まれる場合は、当該飛び地の境域情報も含まれます。